



親 鸞

繪 寫

shinran

The 850th Anniversary Special Exhibition

特別ガイドブック

親鸞聖人生誕 850 年特別展
「親鸞—生涯と名宝」

『史上最大の親鸞展』の見どころ

親鸞聖人生誕 850 年を記念して、浄土真宗各派のお寺では慶讃法要が行われます。それにあわせて京都国立博物館では、親鸞聖人生誕 850 年特別展『親鸞－生涯と名宝』を開催。親鸞聖人の生涯と人柄、そして現代にまで継がれる教えの真髓を感じることができます。

見どころ①

これまでに類を見ない史上最大の親鸞展！

日本佛教界の中でも、圧倒的な人気を誇る親鸞聖人。これまで数々の親鸞展が開催されました。今展覧会はその規模が違います。国宝は 11 件、重要文化財は 75 件出陳。展示作品は合計で約 180 件にも及びます。

見どころ②

超宗派の協力。貴重な法寶物を一堂に集結

史上最大の親鸞展が実現できたのは、宗派の垣根を超えた協力があったからこそ。今展覧会では、真宗教団連合の特別協力によって、これまでなかったコラボが実現。『教行信証』は、坂東本、西本願寺本、高田本がはじめて集結、三本が同時に展示されます。その他、東西本願寺の御堂に飾られていた桜の障壁画も並びます。

見どころ③

ここでしか見られない。 親鸞聖人自筆の名号・経本・手紙

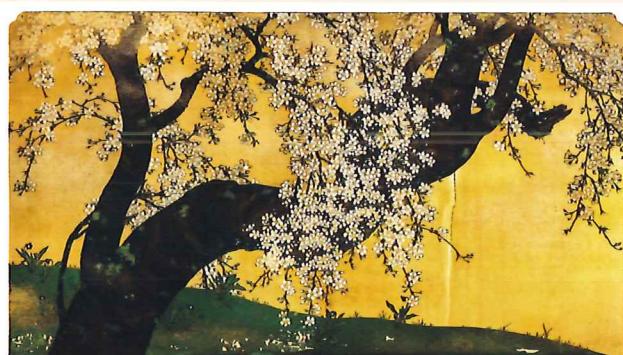
親鸞聖人自筆の御名号や御消息など、見どころが満載。余白にまでびっしりと注釈の書かれた国宝『観無量寿経註』からは、親鸞聖人の救いへの熱量が時代を超えて見る者に迫ってきます。



国宝 観無量寿経註（部分）親鸞筆
京都・西本願寺（3月 25 日～4月 30 日展示）
<巻替あり>



国宝 教行信証（坂東本） 親鸞筆 京都・東本願寺<冊替あり>



桜花図 桜花図／松・藤花図のうち 望月玉泉筆 京都・東本願寺

主担当の研究員さんに

親鸞聖人の魅力を訊こう！

京都国立博物館
上杉智英さん

親鸞展を主担当として取り仕切るのは、京都国立博物館研究員の上杉智英さん。ご自身も浄土真宗のお寺に生まれ、僧籍を持たれている上杉さんに、親鸞聖人の魅力、そして親鸞展の見どころを直接伺いました。

ー あらゆる時代の人たちが親鸞聖人に惹かれています。なぜだと思われますか？

ありのままの自分、そのままの姿で救われるのだという、親鸞聖人がたどりついた境地が、あらゆる時代の人々の心に響いているからだと思います。また、その境地にたどりつくまで、比叡山で修行したり、六角堂に参籠したりと、悩みぬかれたことだと思います。教えと生き様、その両面が、親鸞聖人の魅力ではないでしょうか。

ー 親鸞聖人の教えは、当時の人たちから批判を買いました。それにもめげずに自身の信じる道を貫かれたのはなぜでしょうか？

親鸞聖人は、とことん「自分」というものにこだわった方です。「この国をよくするには」「あの人を救うには」というのではなく、「私が救われるにはどうしたらいいか」という、いわば自分の問題に向き合い続けました。すべての原因も、答えも、自分の中にある。だから、嘘をつくことも、ごまかすこともできない。自分に対して真っ正直な方ゆえに、信じる道を貫くことができたのかもしれません。

ー お寺ではなく、博物館で親鸞聖人に触れる意義は？

各派の寺院の中で大切に守られている品々を、「京博さんであれば」というご厚意から、ありがたくもお借りすることができました。おかげさまで、宗派の偏りなく、包括的に親鸞聖人の教えに触れられるかと思います。

ー 来場者の方々に、この親鸞展で特に注目してほしい点はありますか？

真宗十派の各派が協力して下さるということで、その根源となる親鸞聖人そのものに焦点を当てるよう構成しました。場内に並べられたものを目の前にすると、時代を超えて、親鸞聖人の迫力や熱量がこちらに迫ってくるかと思います。自筆の御名号、御消息、お経などから、ぜひそのお人柄や教えを感じ取っていただきたいです。



親鸞展が行われる京都国立博物館・平成知新館



国宝 親鸞聖人影像（安城御影副本）（部分）
(賛・裏書) 蓮如筆 京都 西本願寺 (3月25日～4月2日展示)

- 宗教離れと言われる時代。いまこそ親鸞聖人から得られるものとは？

親鸞聖人が生きられた時代と同じで、現代も大きな変革期にあり、何が正解か、未来に何が起こるか、誰にも分からぬ世の中です。だからこそ心の拠り所となるものが必要なのではないでしょうか。親鸞聖人にとって、それは南無阿弥陀仏のお念仏でした。親鸞聖人の生涯にふれることが、ご自身の中の、心の拠り所を見つけるきっかけになれば嬉しいです。どんな時でも心の拠り所となる言葉を自分の中に持っておくことは、生きる上で大きな助けとなるはずです。

上杉さんのインタビュー記事全編は、
素心のWEBマガジン『こころね』の中で、
前後編に分けて配信しています。



親鸞聖人生誕850年特別展 親鸞—生涯と名宝

会期 2023（令和5）年3月25日（土）～5月21日（日）

会場 京都国立博物館 平成知新館

開館時間 9:00～17:30（入館は17:00まで）



「礼儀・挨拶・親孝行」



— 仏壇・莊厳仏具・墓石の専門店 —

加古川本店

〒675-0012
加古川市野口町野口81-1
TEL 0120-20-9988

姫路店

〒670-0966
姫路市延末1丁目82
TEL 0120-20-9987

高砂店

〒676-0076
高砂市伊保崎4丁目1-61
TEL 0120-20-9989

【営業時間】9:30～18:30（盆前1か月は19:00まで）【定休日】年中無休（正月を除く）

発行 素心株式会社

構成・文 玉川将人 ©Masato Tamagawa 2023
デザイン 小林竜太 ©Ryuta Kobayashi 2023